



2013年5月15日

大阪市市長/日本維新の会共同代表

橋下 徹 様

日本 YWCA
会長 俣野尚子
総幹事 西原美香子

「慰安婦制度は必要」とする発言の撤回と国際社会の信頼回復の責任を求める 要請書

5月13日、日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市市長は、「従軍慰安婦は必要な制度」であり旧日本軍による「慰安婦」の強制連行を裏付ける証拠はないと史実を否定することで、アジアやアメリカなど関係国からの非難は不当であると表明しました。同時に在日米軍に対して、風俗産業の積極的利用により犯罪の減少をはかるよう進言したと公表しました。これは、歴史の歪曲および許しがたい女性への侮辱であり、人権侵害です。

旧日本軍の強制連行による「慰安婦」の史実は、長年アジアの国々や国内外の民間団体によって被害者・加害者の証言による実態の確認作業、裁判支援、賠償制度などが営々と積み重ねられ明らかにされてきており、否定することのできない事実です。それにもかかわらず、その歴史を否定する発言は、「慰安婦」と呼ばれる性奴隷にさせられた人々の尊厳を踏みつける行為です。また、軍隊に「慰安婦」が必要とする考え方は、女性を軍隊による性奴隷の対象とすることであり、人権侵害を永続化するものです。

日本 YWCA は、世界の YWCA のネットワークの中で女性の人権に取り組んでいます。アジアの国々への侵略を止めることができなかった反省に立ち、過去の史実に真摯に向き合い謝罪することで、アジアの YWCA と共に未来の平和を構築できると考え活動してきました。しかし、歴史を直視しない橋下大阪市市長の公的立場の発言は、国際社会の信頼を大きく損なうことになっています。

日本 YWCA は、橋下徹大阪市市長に対し、「慰安婦制度は必要」とする発言の撤回と謝罪を強く求め、また、損なわれた国際社会の信頼回復の責任を果たすことを要請します。

以上

日本 YWCA

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 302 号室
TEL: 03-3292-6121 FAX: 03-3292-6122